

リサイクル産業の立ち上げ等を念頭に、低コストでコンパクトなエコタウン事業の可能性について、研究を始めようと考えている。

地域新エネルギー

市有施設への導入を検討

問 太陽光発電、廃棄物発電等新エネルギーの有効利用について調査研究し、その導入を検討する地域新エネルギー策定事業の今後の計画は。

答 生ごみを利用した発電システムは、二酸化炭素排出量の抑制等地球環境対策に有効であり、太陽エネルギーは、岡山の気候風土に適していると考えている。学識経験者、市民代表、エネルギー供給者等で構成する検討委員会を組織し、地域のエネルギー需要や新エネルギーシステムに係る基礎データを収集し、経済性や効率性等を考慮しながら、市有施設等への導入について検討していきたい。

教育



小学校の再編に向けて

問 小学校再編に伴う 跡地利用の考え方は 中央北・南小学校の統合計画の進め方は。

答 旧内山下小学校は後楽館中学・高校、旧弘西小学校は平成17年度開校予定の第二期統合新設校として利用していきたい。中央北・南小学校と出石小学校については、地域特性や中心部の貴重な土地であることを十分認識し、戦略的な都市経営を進めるための機能等を事業手法を含めて研究の中で、各土地に適した跡地利用計画を総合

的に検討していきたい。第一期の新しい学校づくりに向け、五小学校区の保護者や関係者等に



新たな教育環境づくりに向けて(岡山中央北小学校)

よる準備委員会が発足している。今後、特色ある教育内容や施設整備について、準備委員会等の意見を聴きながら、13年度中に方針を決定したい。

後楽館高校

二十歳以上の入学枠を検討

問 後楽館高校の入学生募集に単位制総合学科としての特色を生かし、二十歳以上の枠を設けては。

答 平成14年度から、後楽館高校へ中等部の生徒が進学するため、試験を受けて入学する生徒の枠が狭くなる。二十歳以上の入学希望者のために特別な選択制度の枠を設けるなど、より弾力的な新しい募集のあり方を検討していきたい。

児童クラブ

待機児解消へ積極的に対応

問 児童クラブの待機児を解消するための本市の取り組みは。

答 保護者や町内会、学校等の理解が得られた地区については積極的に新設し、物理的限界にある施設は、関係者と協議しながら増築に取り組んでいきたい。定員についても、各クラブで増員が可能であれば柔軟に対応するとともに、学区外からの受け入れについても、個々の事情に応じて検討していきたい。

シックハウス対策

シックハウス症候群に対する 学校園での取り組み

問 シックハウスへの対応は。一般市民への対応は。

答 国の室内空気汚染対策の基準に基づき、平成13年度から、新増築等の際には教室の内装に化学物質の少ない仕上げ材を使用しており、木造の校舎には、建築コストを考慮の上、内装仕上げ材等に自然素材の木材の使用を検討したい。アレルギー予防教室の実施、各種情報提供、専門医や専門病院の紹介を行っている。13年度から、市民の要望に応じて家屋の揮発性有機化合物の測定を行うとともに、パンフレットを作成して啓発に努めたい。



地域で児童を育成

委員会報告書と 委員長報告

本会議に上程された議案等は、市長の提案理由説明の後、質疑を経て、それぞれ所管の委員会に付託され、綿密な審査を行います。委員会での審査が終了すると、委員長は速やかに委員会報告書を議長に提出しなければなりません。委員会報告書は委員会における審査の結果等を記載したもので、この報告書の提出により、議案等は委員会から離れ、再び本会議の議題とすることができます。

また、委員長は本会議で付託案件が議題となったときに、その審査経過や結果を原則として口頭で報告することになります。表決に当たって、所属委員以外の議員の判断材料となるよう結果だけでなく、それに至る審査の過程や意見等について客観的かつ詳細に述べる必要があります。

なお、委員長報告は、議決により省略し、委員会報告書の配布または朗読に代えることもできます。岡山市議会では、請願・陳情の委員長の口頭報告は省略するのが先例となっています。

